

校 訓 「力を高め、心を磨き、夢を育む」

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「力を高め、心を磨き、夢を育む」のもと、翔南中の伝統と文化を創造・発展させる中で、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図る。

(2) 経営方針

令和8年度、本校は、開校14年目を迎える。開校以来取り組んできた教育活動や環境整備を基盤に、教育目標の実現のため、生徒、教師、保護者、地域が一丸となり、さらなる翔南中学校の教育の進化・発展を目指す。生徒が、本校での個に応じた学びや仲間との学び合いを積み重ねることにより、自らに誇りを持ち、自他の存在の大切さに気付き、自分の将来に夢を膨らませ、未来社会において活躍できるように導く。

(3) 目指す生徒像

- ・将来の自分の姿を見据え、自ら学び、学んだ力を活かし、実践活動に取り組む生徒
- ・あいさつ等の礼儀を身に付け、正義感と思いやりをもって生活する生徒
- ・健康・安全で活力ある生活を送るために、心身の健康の保持増進を図る生徒

(4) 目指す教師像

『翔南中学校の創造にふさわしい教育愛と情熱をもった教師』

- ・高い倫理観を持ち、生徒、保護者に信頼される教師
- ・崇高な使命を自覚し、生徒に対し限りない愛情を注ぐ教師
- ・常に学び続け、専門的知識と幅広い教養を身に付ける教師

(5) 本年度の重点努力目標

①生徒自ら「分かる・楽しい」を求める授業の実現～個別最適化された学びを通して～

【授業改革～個別最適な学びの充実～】

- ・個別最適な学びを展開するために必要な教師力を、磨くことができるようにする。
(個の学びに導く授業展開力、子供をとらえる力、個に応じて支援・称賛する力等)
- ・教科の本質に迫る楽しさを味わうことができるよう、単元構想・授業展開を練る。
- ・生徒が自ら学びに向かい出せるよう、学習課題の提示までの手立てを工夫する。
- ・生徒に自身の成長に気づかせることで、自ら学ぶことの価値を実感させる。
- ・「委ねる」「待つ」「見取る」「支える」の教師支援と、生徒の成長をつなげて授業を振り返り、授業改善に生かす。
- ・ICT活用等により、個の学びを生かした協働的な学びを展開する。

②特別活動や道徳の授業を充実することで、自他を敬愛し、支え合う心を育む。

【心の育成改革】

- ・対象を「すべての子供」とし、生徒会活動や行事等の活動を通して、感動・達成感を得ることで帰属意識や自己肯定感、互いの絆を高める。
- ・道徳の授業を充実させ、温かな人間関係づくり、礼節や規範意識を育てる。
- ・命の教育やSOSの出し方に関する教育等により、自他の命を大切にする意識を高める。
- ・F組の理念や特別支援学級における取組を全教職員・生徒に浸透させ、多様性を認め、他者を思いやる風土を築き上げる。

③自ら自分の心や体と向き合い、たくましく生きることのできる力を育む。

【自分の体と対話できる子供の育成】

- ・自分の生活を見直し、自ら健康で豊かな生活を送ることができる力を育む。
- ・体育的行事や部活動を生徒主役の活動に転換していくことで、生徒が自分自身と向き合うことができるようにする。
- ・SNSとの付き合い方と健康的な生活の在り方を学ぶ機会を充実させ、自分の生活を見つめ直すことができるようにする。

④働き方改革を推進し、生徒と向き合う時間を確保する。

- ・チームとして同僚性を高めると共に、個々のマネジメント能力を高める。
- ・子供としっかり向き合うことで教育が充実することを理解することで、自分の働き方を見つめ直すことができるようにする。
- ・校内行事等、子供主役の活動の場を広げ、子供の成長につなげる中で、教師の行事へのかかわり方を見直す。
- ・会議時間短縮、部活動ガイドライン遵守により、19時退校を基本とする。
- ・校務システムを有効活用し、事務の効率化や連絡時間の短縮を図る。